岳南朝日
岳南朝日新聞社
〒418-0033
富士宮市野中東町46-1
代表 (0544) 28-0200
FAX (0544) 28-0218
編集 (0544) 28-0234
営業 (0544) 28-0220
月822円　1部50円

創ります"夢あるあした"
富士宮信用金庫
富士宮市元城町三十一・十五

購読申し込み先
●吉原（0545）
植草新聞店 ☎(52)0370
鈴木新聞店 ☎(52)5503
星野新聞堂 ☎(52)0376
●富士（0545）
雨森新聞舗 ☎(61)5049
田畑新聞店 ☎(61)0011
星野新聞堂 ☎(61)0275
●鷹岡（0545）
安倍新聞店 ☎(71)3327
SHC鷹岡 ☎(71)8156
望月新聞店 ☎(71)2647
●富士川（0545）
石井新聞店 ☎(81)1333
佐野新聞店 ☎(85)2093
●富士宮（0544）
鈴木新聞店 ☎(26)3285
中野新聞舗 ☎(23)3333
勝亦新聞店 ☎(26)1100
SHC明治 ☎(26)2543
中西新聞店 ☎(28)1133

主食・主菜・副菜・乳製品について説明

沼津高専開発「むすびんロボット」活用し食育授業

浜幼稚園で遊びと結びつけ

富士市は15日、独立行政法人国立高等専門学校機構・沼津工業高等専門学校（沼津市大岡）が開発した富士市の食育キャラクター「むすびんロボット」を活用した食育授業を市立浜幼稚園（森口康裕園長）で行った。年長園児20人が主食・主菜・副菜・乳製品の色を割り振った食品ブロックをむすびんロボットに"食べさせ"ながら迷路を攻略するゲームに挑戦し、楽しみながらバランスよく食べることの大切さを学んだ。

むすびんは、市が2009年度に策定した市食育推進計画「富士山おむすび計画」をより多くの人に周知するために誕生した食育キャラクターで、現在、沼津高専電気電子工学科4年生の秋山奈穂さんが中学1年生の時に考案し、2000通を超える応募案の中から選ばれた。

今回のむすびんロボットは、「創造・保護・活用～学生のアイデアで地域の課題に挑戦する～」をテーマとした沼津高専の大津孝佳教授の食育教材開発プロジェクトが開発。秋山さんをはじめ、富士市在住の本多由佳さん（4年）や、矢幅達也さん（3年）、小池菜友さん（2年）、小泉理佳さん（同）が携わった。

センサー等の機械とブロックを組み合わせ、色に反応して左右に曲がりながら進むロボットで、食品の持つ色と栄養素、ロボットの動き、音、光を関連付け、その規則性の発見から食への関心を高めることを目的としている。

食育授業では、ご飯・パン・麺類の主食を「黄色」、肉・魚・卵・大豆製品の主菜を「赤色」、野菜・きのこ・海藻の副菜を「緑色」、牛乳・ヨーグルト・チーズの乳製品を「青色」に分類。園児たちは学生からの説明を受けた後、4人1グループに分かれて迷路に挑戦し、栄養バランスの大切さを理解しながらゴールを目指した。

ロボットを使って遊びと食育を結びつけた取り組みは全国でも例がなく、今回の取り組みの成果は19日に新潟県で開催される日本動物学会の「高校生によるポスター発表」で同プロジェクトメンバーが発表するという。

むすびんロボットを使ったゲームで食材を学ぶ園児